

げい せい むら

芸西村

小さくても元気で輝くむら



小さくても元気で輝くむら



高知県
芸西村

芸西村の概要

高知県東部に位置し、南は太平洋、北は山々に囲まれ、むらの中央を和食川が流れています。年間を通して温暖な気候に恵まれた県内屈指の農業の盛んなむらです。

4 Geisei Gallery

温かなむらの魅力が
キラリと光る



竹灯りの宵

6 **むらに笑顔と
幸せが咲く**

小さな村で生まれた
世界一の花
愛らしいブルーの花々に
囲まれた毎日

8 **輝く白波と青い海原**

竹灯りの中でゆれる
ろうそくの灯りと
月の光、波の音
うっとりするほど美しく
幻想的な光景

10 **太陽と大地の恵み**

ハウスの中に
生態系を再現した農法で
安心安全な野菜を全国へ

12 **受け継ぐ文化の**

薫り高く
昔ながらの製法で
丁寧に炊き上げる
優しい甘さの黒砂糖

14 **暮らしに優しいむら**

優しさに包まれた日々を
見つける

16 **小さくても**

元気で輝くむら

第4次芸西村総合振興計画

21 **むらの歩み**

芸西村議会

芸西MAP

22 **村長あいさつ**



Geisei Gallery

ブルースター



360度
体感



Royal Hotel土佐

COCOROちゃんベンチ



Kochi黒潮カントリークラブ



観月の宴



桜ヶ丘公園

琴ヶ浜の松林



ブルースター農家
谷岡さん
一家

むらに笑顔と 幸せが咲く

小さな村で生まれた世界一の花
愛らしいブルーの花々に囲まれた毎日



360度
体感

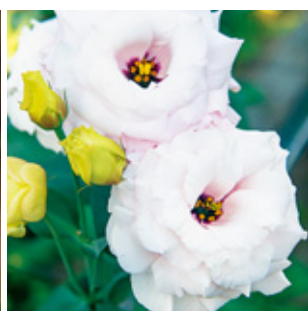


昔は野菜や様々な品種の花を栽培していましたが、可憐に咲く「ブルーの花」に魅せられ、今はブルースター栽培一筋です。最初は肥料の種類や最適な栽培環境など、わからないことが多くありました。試行錯誤の毎日で、大変なことも多かったです。そんな中、オリジナル品種「ピュアブルー」を作り出すことができました。そして、ドイツで開催された園芸見本市にて、最優秀賞を受賞できたことは、とても名誉なこと、今でも鮮明に覚えています。息子が後継者として、共に栽培に取り組んでくれていることも嬉しい限りです。

むらではブルースターのほかに、八重咲きやフリンジ咲きなどバリエーション豊かな品種を誇るトルコギキョウやダリア、デルフィニウムなど、多彩な花々も栽培しています。



デルフィニウム



トルコギキョウ



ダリア

ブルースター

南アメリカが原産。正式名称は「オキシペタルム・カエルレウム」というガガイモ科の多年草です。水色の花びらが星のように見えることから、園芸的には「ブルースター」の名前で流通しています。

現在は、もっと色の濃いものやブルー以外の品種など、新しいブルースターの開発に挑戦すると同時に作業効率化による安定した経営に努めています。多くの方に「キレイだね」と喜んでもらえるよう、芸西村では一丸となってより良い花づくりに取り組んでいます。



品種改良の末、芸西村で誕生したピュアブルー。従来のブルースターより丸い花弁で上向き、水揚げが簡単に日持ちも良いことが特徴です。海外への販路拡大をめざしてドイツで開かれた世界最大級の国際園芸見本市「IPM Essen 2011」に出品したところ、切り花部門で最優秀賞を受賞。花言葉である「信じ合う心」、花嫁が青いものを身に付けると幸運が訪れるというサムシングブルーの伝説にちなんで、プライダルシーンにふさわしいと注目されています。芸西村のブルースターは日本一の出荷量を誇っています。

ピュアブルーが
世界一に



琴ヶ浜

太平洋の波が打ち寄せる東西に約4kmと長い海岸線に、数万本ともいわれる松が生い茂る美しい景観は「日本の白砂青松100選」の一つに選ばれています。



輝く白波と 青い海原

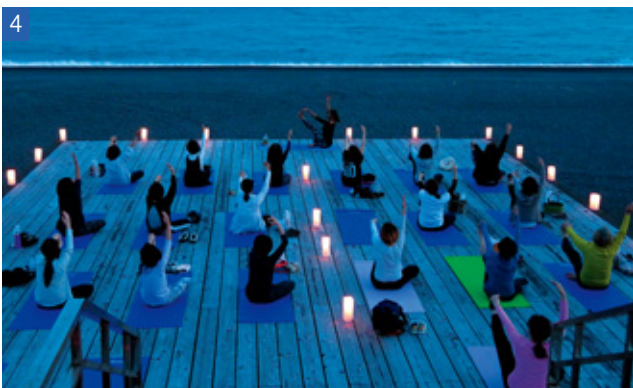
竹に大小の穴をあけ、波や星などを表現した模様を描いた竹灯り。ろうそくに火を灯すと、夜の琴ヶ浜が一気に幻想的な雰囲気になります。元々このイベントは竹害対策の一環として始まったものなんです。

数百本の竹を切り出し、穴をあけ、組み立てて設置と、準備に時間がかかり大変なこともありましたが、それを「楽しい」という感情が上回るんです。初めて竹灯りを制作した時の、灯りが浜辺に広がっていく情景は今でも忘れることができません。感動の一言でした。



竹灯りの制作や準備は、ボランティアの協力なくしてはできません。嬉しいことに、地域の人をはじめ、最近では村外からの参加者も増えてきました。このイベントは竹害対策や観光の目玉としてだけでなく、人と人とのつながりづくりの側面もあるんです。

イベント当日は、どんなに点灯に参加できますので、すばらしい思い出を作り、ぜひ一度お越しいただきたいと思えます。これからも、芸西村が誇るイベントの一つとして、竹灯りの宵を盛り上げていきたいです。



360度
体感



1. 琴ヶ浜松原野外劇場
2. 地引き網体験
3. 観月の宴
4. 浜ヨガ



竹灯り
実行委員会
会長
**長崎
清次さん**

竹灯りの中でゆれる
ろうそくの灯りと月の光、波の音
うっとりするほど美しく幻想的な光景

太陽と大地の 恵み

ハウスの中に生態系を再現した農法で
安心安全な野菜を全国へ



ピーマン農家
藤戸さん
一家



園芸野菜

全国でもトップシェアを誇る高知県のナスとピーマン。その中でも芸西村は県内有数の産地として知られています。環境に優しい栽培方法で、安心安全な野菜づくりに努めています。

芸西村は高知県でも有数のピーマン産地です。ピーマンは夏の野菜ですが、温暖な気候とビニールハウスを利用し、冬でも栽培できる環境を作っています。私のハウスでは、年間約1000tのピーマンを栽培しています。栽培する中で一番気を遣うのが病害や害虫です。昔は、農薬を使った防除方法が一般的でしたが、現在は害虫を捕食する「天敵昆虫」を利用して駆除しています。これは食物連鎖の原理を利用したオランダ発祥の農法で、言わばハウスの中で生態系を再現するイメージです。彼らの力を借りることで、安心安全でおいしいピーマン栽培が可能になっています。ピーマン・ナス・花卉栽培、これらはむらの農業のメインです。芸西村では、農家同士が栽培品



目の壁を越えてつながり、技術・情報の共有や災害復旧の助け合いなど相互協力の体制ができています。これは芸西村ならではの強みです。今後は、若い人が農業を始めやすいシステムを作り、芸西村での就農をより魅力あるものにしていけたらと思います。





1



3



2



4

360度
体感



1.文化資料館・筒井美術館(外観) 2.文化資料館(内観)
3.伝承館(外観) 4.伝承館(内観)

村内で黒砂糖づくりが盛んだった私の幼少時代、興味本位で家の近所の製糖現場をのぞき、作業を手伝ったことがありました。縁あってか、長い年月を役場職員として過ごし、退職するタイミングで製糖組合代表を任されることとなり、そこから本格的に製糖作業に携わることとなりました。

村内で黒砂糖づくりが盛んだった私の幼少時代、興味本位で家の近所の製糖現場をのぞき、作業を手伝ったことがありました。縁あってか、長い年月を役場職員として過ごし、退職するタイミングで製糖組合代表を任されることとなり、そこから本格的に製糖作業に携わることとなりました。



黒砂糖

伝統文化技術を今に伝える伝承館。天保時代から行われているという芸西村の黒砂糖づくりの製法を守り続けています。芸西村の黒砂糖は白っぽく優しい甘さで「白玉糖」と呼ばれています。



受け継ぐ 文化の 薫り高く

まんじゅう笠

真竹、土用竹、淡竹の3種類の竹を使い分けてひと針ひと針手作業で編み上げる笠。竹の子の皮を被せた晴雨兼用で、かつて農業や漁業の必需品でした。
「和食名物 荷物にやならぬ 被してお帰り 万寿笠」といわれ、昭和初期の和食地区は、県内唯一の竹の子笠の産地で、最盛期には約120軒で作られていました。現在、高知県伝統的特産品に認定されています。



昔ながらの製法で丁寧に炊き上げる
優しい甘さの黒砂糖



芸西村伝承館
製糖組合
代表

**猪野
司孝**さん

毎日楽しい!



アットホームで 子育て環境が良い

芸西村に住んでいる親族からむらの良さを聞いて移住を決めました。

村民みんなで子育てを応援してくれるアットホームな環境で子どもたちはのびのびと成長しています。保幼小中の先生と心の距離が近いこと、少人数だからこそその手厚いサポート、子育てに関する経済的な支援が充実していることが魅力です。



子育てに最適。

河村さん一家

暮らしに 優しいむら



むらに恩返しができるように

私たちが移住してきた時、むらの方々に快く受け入れていただいたことにも感謝しています。多くの方にむらの魅力を伝えることはもちろん、同じように移住して来られる方に温かく接していくことで、恩返しができると思っています。

暮らしに 優しい理由

医療費助成

芸西村に住む0歳から18歳の子どもが、病気やケガで医療機関を受診した時、医療費の助成を行っています。

延長保育

芸西保育所はもちろん、芸西幼稚園でも、早朝保育や預かり保育を実施し、働きながら安心して子育てできる環境づくりに取り組んでいます。

病児病後児保育

子育てと仕事が両立できるよう、おおむね小学校3年生までの子どもが病気の時や病気の回復期にあたる時、保護者に代わって保育を行っています。

むらの主要産業を 仕事に

元々海に近いところで暮らしたいと思っていました。そんな時、芸西村のきれいな海に出会い惹かれて、移住を決めました。移住して程なく、農業法人に転職しました。仕事をしていく中で、「コツコツと作業を積み重ねる農業という職業が自分に向いている」と感じ、営農を考えるようになりました。

芸西村の主要産業は農業であり、ナス、ピーマン、花卉の栽培が盛んですが、ナスは収支のバランスが他の品目より安定していることから、研修事業を経て経営を開始しました。



「ナスの収穫」

農業も始めるの
にも最適。

市川さん
夫婦



喜びを感じる瞬間

きれいな花やツヤのいい立派な実が育ったり、病気による被害が少なくたくさん収穫できた時、地道な努力が実を結んだのだと嬉しくなります。

手厚いサポート 体制を後世へ

私たちが営農するにあたり、困った時には先輩農家の方々に助けていただきました。多くの方に支えられて今があります。今後は、かつての自分のように農業を始めたと思う人にアドバイスやサポートをすることで、芸西村の農業の担い手を育てるお手伝いをしたいと思っています。



空き家バンク制度

増加している空き家の有効活用と、芸西村に移住・定住を希望する方の住居の確保を目的に、空き家の情報をホームページにて発信しています。

車・鉄道アクセス便利

村内には、「ごめん・なはり線」、高知東部自動車道も走っています。また、近くには高知県唯一の空港「高知龍馬空港」もあり、県内外ともにアクセスしやすい場所となっています。

新規就農支援

芸西村でナスやピーマン、花卉農家をめざす人に対して、実践的な研修や助成金の支給、農業に関する情報提供や相談・支援などを実施しています。



村民の防災意識を高める防災訓練



水源確保のため建設が続く和食ダム



村内に3カ所ある津波避難タワー

安心安全で 住みやすい村

全国各地で地震や台風、集中豪雨など災害に備える取り組みが進んでいます。東日本大震災により、日本の地震や津波対策が見直され、芸西村でも南海トラフ地震の被害想定をもとに、避難場所の指定、避難路の整備や避難タワーの建設を加速させました。また、自主防災組織の育成や地域防災計画の策定、防災訓練の実施など、関係機関と協定して防災力の強化に努めています。

インフラに関しては、村内平野部のほぼ全域に高速インターネット環境や上下水道が整備されています。今後は、空き家再生や分譲宅地開発など住環境整備に取り組み、若い世代を中心に移住先として選んでもらえる、安心安全で利便性が高い村づくりを進めていきます。



地場産品直販所「かっぱ市」



百年以上の歴史を持つ造り酒屋・仙頭酒造場



スポーツ合宿に活用可能な憩ヶ丘運動公園

人が集い 活気に満ちた 産業の村

芸西村の農業は基盤整備事業などに
より大きく発展し、園芸王国土佐の中
でも屈指の産地に成長しました。活力
ある村づくりのためには、基幹産業で
ある農業の発展、「産地力」の維持は
不可欠です。農業の担い手確保や育成
とともに、施設整備、新技術の導入に
よる生産力向上、出荷体制整備や販
売力強化などを支援し、農業所得の向
上をめざします。

商業においては、地場産品直販所「か
っぱ市」を中心に、地元産品を使った魅
力的な特産品の開発が進んでいます。
意欲的な取り組みや活動に対する支
援体制を充実させて人材を育成し、産
業が元氣な村づくりをめざします。



子どもたちの笑顔と笑い声があふれる芸西保育所

健やかで 温もりを 実感できる村



健やかな成長を支援する乳幼児健診



タオルを使った手軽な体操「芸西かっぱ体操」

健康で長生きできる村をめざして、生涯を通じた健康づくりを推進していきます。各種健診のほか、小児生活習慣病予防健診「よかッパ健診」を開始し、早い時期から良い生活習慣を身に付けてもらえるよう取り組んでいます。

誰もが安心して子どもを産み育てることができるよう保健師が中心となつて各機関と連携しながら、きめ細やかな支援に努めています。医療費無料化や保育料の減額など、子育てに関する経済的負担の軽減や、働きながら安心して子育てできる環境の充実をめざします。また、高齢者や障がいを持つ方が明るく生きがいを持って地域で暮らせるよう、支え合う温かい村づくりを進めています。



ALTの授業で英語に親しむ



村出身の画家筒井広道氏の作品が並ぶ
筒井美術館



和食のすばらしさを学ぶ出前講座

豊かなひとを 育む村

村内の保育所、幼稚園、小学校、中学校では連携教育を推進しています。子どもの特性や能力、適性に応じた指導や、子育て・家庭教育の支援など、垣根を越えた系統性、連続性のあるきめ細やかな教育活動を行います。また、地域交流や村の歴史・文化にふれる取り組みを行い、地域全体で故郷に愛着や誇りを持てる心豊かな子どもを育てます。

「いつでも、どこでも、誰でも」生涯学習に取り組むことができる環境づくりとして、シニア層を中心に長年培ってきた知識や技術を次世代に伝える事業を進めています。生涯活躍できる仕組みを整え、生き生きと充実したセカンドライフを送ることのできる村をめざします。



多様化するニーズへの対応に取り組む芸西村役場

村民と行政が 共に歩む村



地域課題の解決に取り組む
集落活動センター「げいせい」



村民と行政が手を取り合い芸西村を元気に

村民と協働の村づくりを推進することで、行政単独では困難であった課題の解決や細やかな公共サービスの提供が可能となります。開かれた議会運営や村民への情報提供を積極的に行い、村民と行政が共通の問題意識と目標を持って、力を合わせて元気な村づくりを行います。

限られた財源を計画的、効果的に執行するため、事務・事業の優先順位付けを行うとともに、経費削減と歳入確保への取り組みを進め、村民の理解を得ながら健全な財政運営を続けていきます。

むらの歩み

昭和29年 旧和食村、西分村、馬ノ上村の合併により芸西村誕生
昭和30年 旧東川村の久重、道家、国光地区編入
昭和31年 琴ヶ浜が手結住吉県立自然公園に指定。和食、西分、馬ノ上の3小学校を統合し芸西小学校設立、同校新築完成
昭和34年 南海地震による地盤沈下対策事業完了。ごみ焼却場完成。和食川河口導流堤完成
昭和36年 国民健康保険事業発足
昭和38年 丸塚用水ダム完成
昭和43年 芸西中学校改築完成
昭和45年 芸西村総合振興、過疎地域振興計画樹立。過疎公聴会の開催。安芸高等学校芸西分校廃校
昭和46年 芸西小学校白髪分校廃校。簡易水道改良事業完了。小中学校給食共同調理場完成。集団移転開始
昭和47年 憩ヶ丘運動公園整備事業着手。村立芸西歯科診療所開設。集中豪雨のため和食川堤防決壊
昭和48年 福祉館完成
昭和49年 特別養護老人ホーム洋寿荘完



旧芸西村役場



台風時に氾濫した和食川河口 (昭和20年代)



初期のビニールハウス (昭和30年代)



和食川鉄橋を渡る貨物列車 (昭和40年代)



過疎公聴会「一日自治省」 (昭和45年)

成。土佐電鉄安芸線廃止
昭和50年 芸西小学校移転新築。第1回納涼祭開催
昭和51年 久重小学校廃校。村民体育館完成
昭和52年 芸西小学校体育館完成
昭和53年 芸西小学校ランチルーム完成。芸西村民会館完成
昭和54年 芸西幼稚園開園
昭和55年 役場庁舎新築。統合保育所(芸西保育所)完成。農民広場完成。芸西村史発刊。柔剣道場完成
昭和56年 芸西中学校プール完成。県立天文学習館完成
昭和57年 村道桜ヶ池線改良事業完成。芸西小学校プール完成。堆肥センター完成
昭和58年 道家林道開通。歯科診療所移転改築
昭和59年 老人福祉センター完成
昭和60年 文化資料館完成
昭和63年 ごみ焼却場クリーンセンター完成。土佐ロイヤルホテル開業
平成元年 琴ヶ浜松原野外劇場完成。伝承館完成。岡村雅夫氏勲三等瑞宝章受章。スゴウ三黒潮カントリークラブ開業
平成3年 海水健康プール芸西完成
平成5年 お龍・君枝姉妹像完成。村の家完成。生涯学習館完成

平成6年 岡村雅夫氏村長13期連続当選
 全国最多選新記録
平成8年 山崎恒夫氏村長初当選。筒井美術館開館
平成9年 和食川河口公園完成。図書館開設。統合集出荷場完成
平成12年 地域交流センター完成
平成13年 地場産品直販所「琴ヶ浜かっぱ市」オープン。特定環境保全公共下水道(和食地区)供用開始
平成14年 土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線開業。よさこい高知国体の銃剣道、クレー射撃を開催
平成16年 芸西村合併50周年。井上一夫氏村長初当選
平成20年 竹内強氏村長初当選
平成23年 ブルースター(ビュアブル)国際園芸見本市の切り花部門最優秀受賞。高規格幹線道路高知東部自動車道香南やすーC芸西西ーC間開通。琴ヶ浜かつぱりリニューアルオープン
平成24年 和食ダム本体工事契約(県)
平成25年 消防団再編
平成27年 超高速プロードバンド敷設工事完成
平成28年 海水健康プール芸西営業終了。溝淵孝氏村長初当選
平成29年 幼小中学校給食共同調理場移築



議場

芸西村 議会

芸西村議会は、年4回の定例会と必要に応じた臨時会において、村民の代表として、村政に関わる予算や条例などを審議し、方針を決定しています。開かれた議会として、議会開会中は誰でも傍聴できるほか、年4回発行している議会だよりでは、一般質問や予算などの概要のほか、むらの出来事も掲載。より開かれた親しみの持てる情報発信ツールとして作成・発行しています。

芸西MAP

施設や観光地、美しい景観
芸西の名所に出かけてみよう



ACCESS

- 車 高知自動車道南国 IC より約 40 分
- 飛行機 高知龍馬空港から車で約 20 分
- 鉄道 JR 高知駅から土讃線及びごめん・なはり線で約 1 時間



芸西山の家



馬ノ上古墳



御林神社



旧末延堂医院



芸西天文学習館



高知県天然記念物 芸西メランジュ



お龍・君枝姉妹像



魚籠観音



芸西村の家

小さくても 元気で輝くむら をめざして

私たちの郷土、芸西村は、南に雄大な太平洋と白砂青松の琴ヶ浜、北は四国山脈の支脈に通じ、一年を通じて温暖な気候に恵まれた自然豊かなむらです。

昭和29年7月に芸西村が誕生してから、合併することなく60年以上の歳月を迎え、その間、先人の並々ならぬ尽力により村勢もしだいに進展してまいりました。

日本一の農村をめざして整備された芸西平野の園芸地帯では、ナスやピーマン、ブルースターやトルコギキョウなどの農作物が栽培され、今や県内でもトップクラスの産出量を誇っています。

また、高知市や空港に近く、経済活動や通勤・通学などに関して恵まれた立地条件を活かし、若い世代にむらでの生活・子育てを選択しても



芸西村長
溝渕 孝

らせるように、住環境整備や教育、子育てサービスの充実に取り組んでいます。あわせて、お年寄りや体の不自由な方々が、寂しさや不便を感じることなく、地域の一員としての充足感、そして生きがいを実感できるような地域づくりに努めています。

私たちは、自信と誇りを胸に、次世代を担う子どもたちの時代を見据えて新たなチャレンジを続けていきます。コンパクトなむらだからこそできる、心寄せ合った協働のむらづくりにより「小さくても元気で輝くむら」としての魅力にさらに磨きをかけてまいりますので、皆様方の今後一層のご協力ご指導をお願いします。

本誌は小冊子ですが、芸西村の姿をご理解いただく一助としてお役に立てば幸いです。



村の鳥 メジロ

大きさはスズメより小さく、背は黄緑色。目の周りが白く、鳴き声が美しい鳥です。害虫などを捕食する益鳥でもあります。



村の木 黒松

芸西村海岸に多く生え、黒ずんだ皮が特徴の松です。アカマツより太くて強く、樹脂が多いため、松脂がとれます。



村の花 ツツジ

葉は長楕円形で両端がとがり、あらい毛が生えています。薄紅、紅、白の花が4月から6月にかけて野山や庭を彩ります。



村章

「芸西」の文字を図案化したもの。公募によって集まったデザインを選考し、芸西村出身の画家である筒井広道氏が加筆して村章に決定しました。

VRの使い方

スマホやタブレットでQRコードを読み込み、表示されるアドレスをタップすると、360度の景色が表示されます。スマホやタブレットを上下左右360度動かして楽しみましょう。

360度
体感



芸西村勢要覧

発行日 平成30年3月／発行者 高知県芸西村
〒781-5792 高知県安芸郡芸西村和食甲1262番地
TEL 0887-33-2111 FAX 0887-33-4035
<http://www.vill.geisei.kochi.jp>

制作 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所